

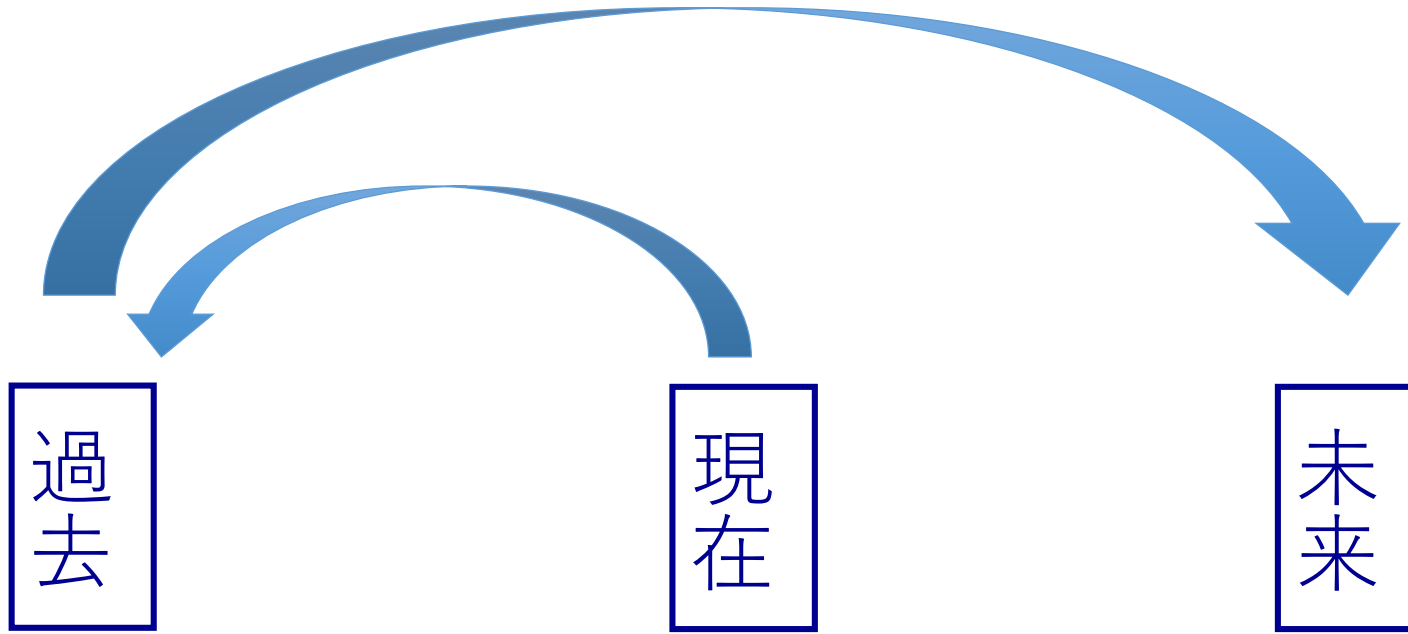
記録のちから

—デジタルアーカイブズが
新たな価値の基盤を創る—

2020.02.11
岐阜女子大学
青柳正規

ジョージ・オーウェル **George Orwell**

- 「過去を支配するものが未来を支配し、
現在を支配するものが過去を支配する」
(党のスローガン)、「1984」・オーウェル著
- **Who controls the past controls the future:
who controls the present controls the past.**
(party slogan), "*Nineteen Eighty-Four (1984)*" by George
Orwell



過去を支配する、とは

- ある時代のイメージをつくり、そのイメージをひろく認めさせること
- 時代のイメージ
 - 実相にちかいイメージ
 - 何らかの作為のあるイメージ
 - 捏造したイメージ
- 実相にちかいイメージの構築
- 過去を振り返る基点としての現代は、けっして不動ではない
- 実相にちかいイメージを構築しようとしても、構築する時点の価値観が作用する

さまざまなイメージ

- 映画

- 「ALWAYS三丁目の夕日」
- 昭和30年代の東京下町の状況を再現

- 小説

- 山本周五郎「楡の木は残った」
- 江戸前期の伊達藩で起こった伊達騒動を題材にする
- 従来は悪人とされてきた原田甲斐を主人公とし、幕府による取りつぶしから藩を守るために尽力した忠臣として描く

- 絵画

- 鏑木清方「築地明石町」
- 明治の東京下町の美人画



浜町河岸



築地明石町



新富町



人形 与 勇輝



デジタル技術

- 要素還元主義の最たる技術
- 情報に関するもっとも中立的な単位
- さまざまな属性をもつ情報に対応可
 - 言語情報、音色情報、形態情報、色彩情報、
映像情報、画像情報
 - 情報伝達のツールとして自在に活用できる
 - 限りない広がり（活用範囲）が可能
- 範囲限定による深化・向上・動機付け

ある時代・文化を復元する

- 生成過程、推移を明らかにすることによってある歴史的個体もしくは現代社会の祖源をさぐる
→ 経時的研究 **diachronic study**
- 現代社会とは異なる社会、文化の様相を提示することで現代との相違点、類似点を明らかにする
→ 共時的研究 **synchronic study**

情報科学を活用した共時的的研究

① 共時的空間の復元・再構築

- 画像資料を中心に時代・文化相ごとに復元・再構築

② 共時的空間の構造の解明

- ①で集積した成果の比較・分析による構造の解明

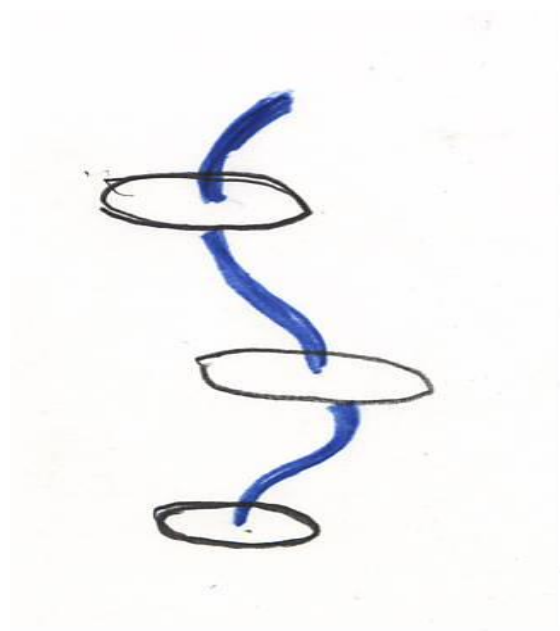
③ 成層化された集積体として、時代・文化の構造の再構築

- ①、②の成果にもとづき、文字資料と象形資料による研究の集積・融合を行う

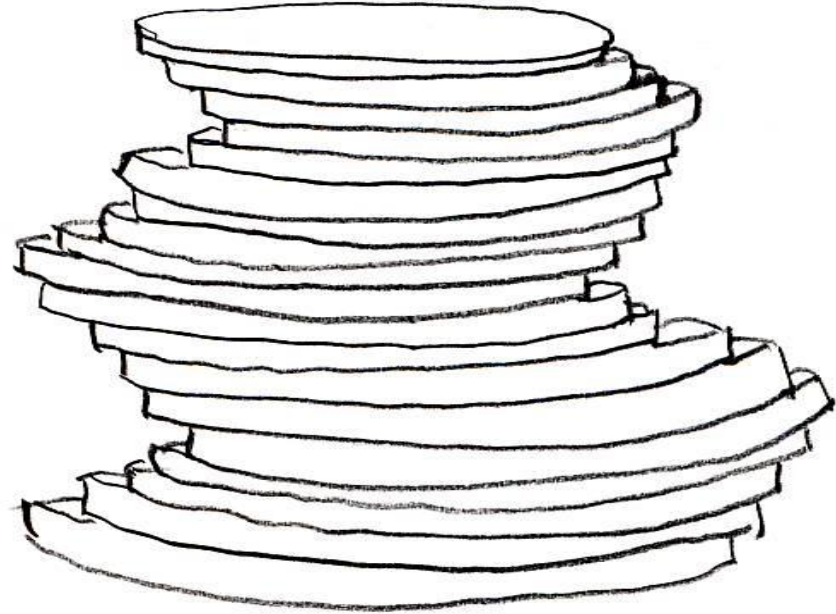
経時的的研究と共時的的研究

- 経時的的研究 **diachronic study**
 - 経時性を本質的に含む「記述」「言説」を基本とする文字資料を中心とした研究
- 共時的的研究 **synchronic study**
 - 歴史的個体は経時的であると同時に共時的空間をもつ。この共時的空間の復元と構造の解明
 - 空間性を有するが故に本質的に共時的である有形資料がこの分野の中心的研究資料
 - ただし、静態的 **static** となるおそれがある

時代相、文化相の復元と推移



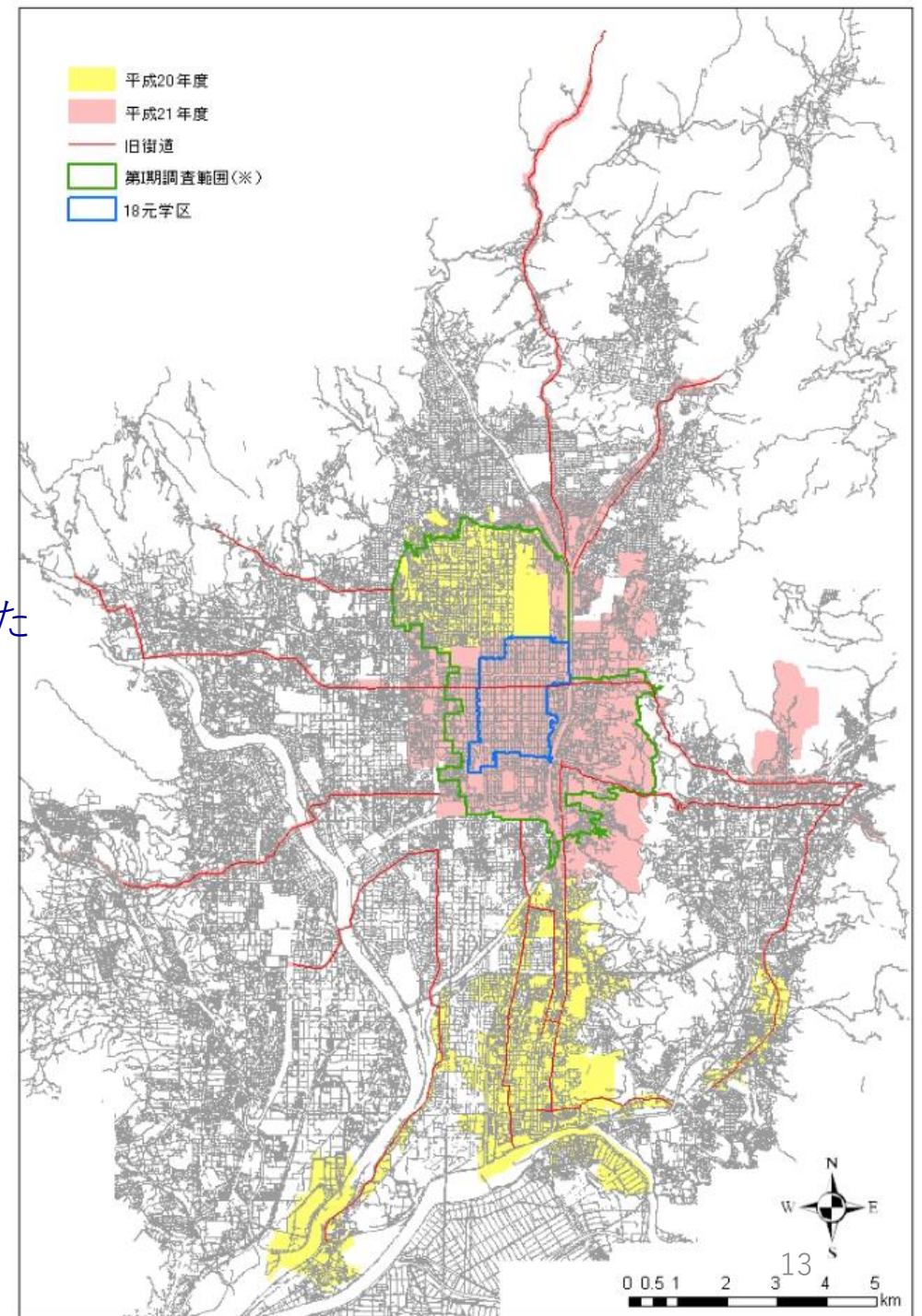
これまでの復元



これからの復元

「京町家まちづくり調査」の概要

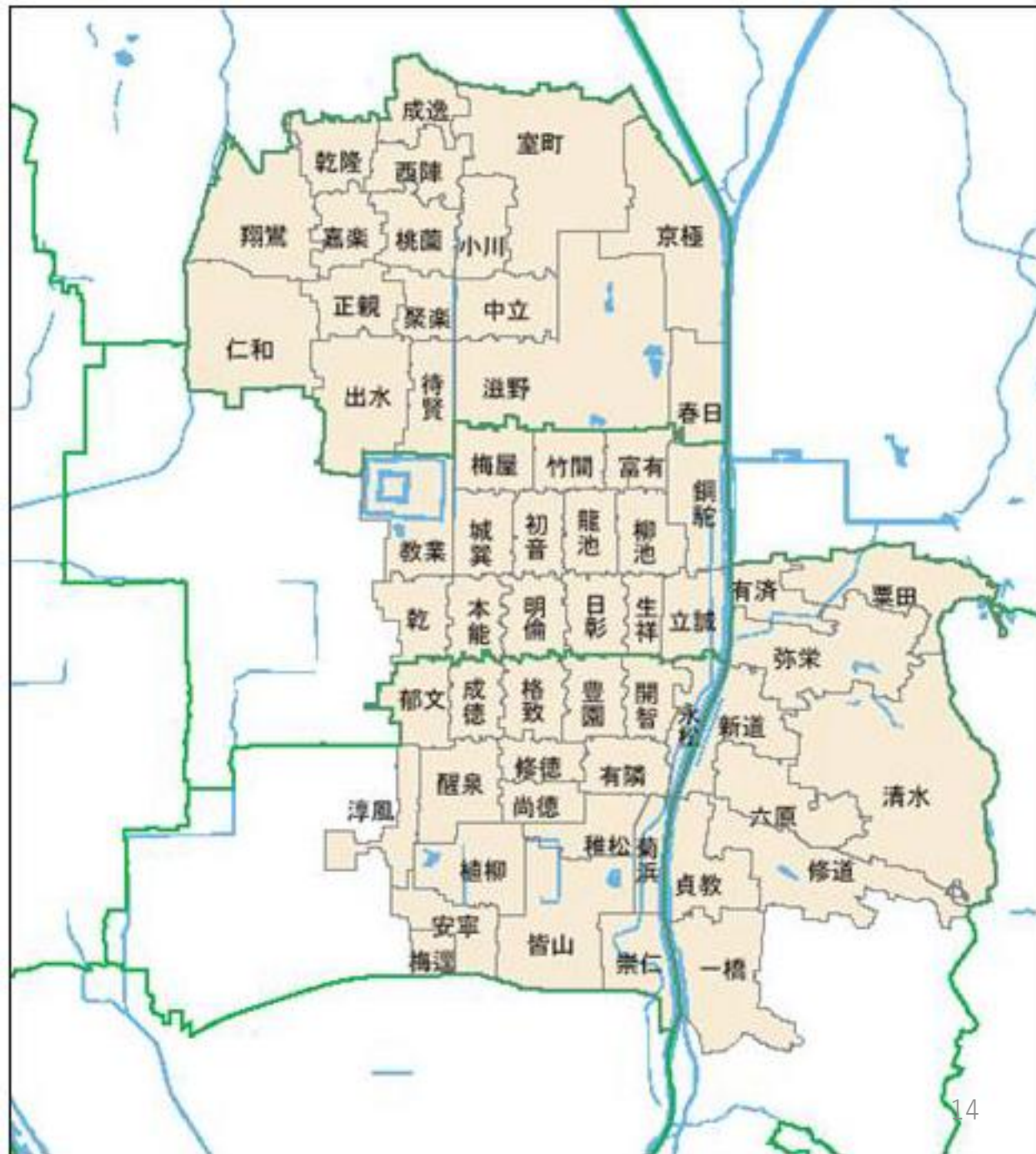
- (1) 調査目的 京町家の減少に歯止めをかける具体的な施策の立案や、市民の取組の更なる推進等を図る。
- (2) 実施主体 京都市，財団法人京都市景観まちづくりセンター，立命館大学
- (3) 実施期間 平成20年10月～平成22年3月
- (4) 調査対象 京都市域に残存する京町家等※
※ 昭和25年以前に伝統軸組構法により建築された木造家屋
- (5) 調査地域 京町家等の残存が推測できる全域
 - ・ 戦前に市街化された地域
 - ・ 旧街道沿い(鞍馬街道，渋谷街道など12街道)
- (6) 調査体制及び参加者数 京町家専門家調査員 及び一般調査員(いずれもボランティア)並びに立命館大学の学生スタッフからなるチームを編成し，チームごとに調査を実施した。
参加者数は，調査員が延べ2,135名，学生スタッフが延べ1,165名であり，合計延べ3,300名だった。



京町家まちづくり調査 (平成10年)

本調査は、調査範囲内の戦前木造建物と思われるすべての建築物の調査を行い、京町家の外観の実態把握と保全・再生に対する居住者等の意向を明らかにすることを目的として実施した。

調査範囲 上京区、中京区、東山区、下京区で、明治後期に市街化していた元学区を調査対象。



外観調査による建物の分類

▶ ①総二階



「本二階」ともいう。

二階の天井高が一階と同程度あり，明治末期から大正時代にかけてこの様式が完成する。二階の窓は，木枠ガラス窓が一般的である。「本二

▶ ②中二階



の窓は虫籠窓が一般的である。「つし二階」ともいう。

二階の天井が通常より低く，近世後期に完成し，明治時代の後期まで一般的に建築された京町家の様式である。二階

▶ ③三階建て



京町家の要素を持つ三階建ての建物。

▶ ④平屋



という特徴がある。

もともと専用住宅として建築された，表に店舗を持たない京町家である。表の窓の開口部（出格子）などが小さいと

▶ ⑥塀付



仕舞屋の中でも，特に裕福な商人の専用住宅として建築された。表に高塀があり，建物が直接道に面していない。

▶ ⑦看板建築



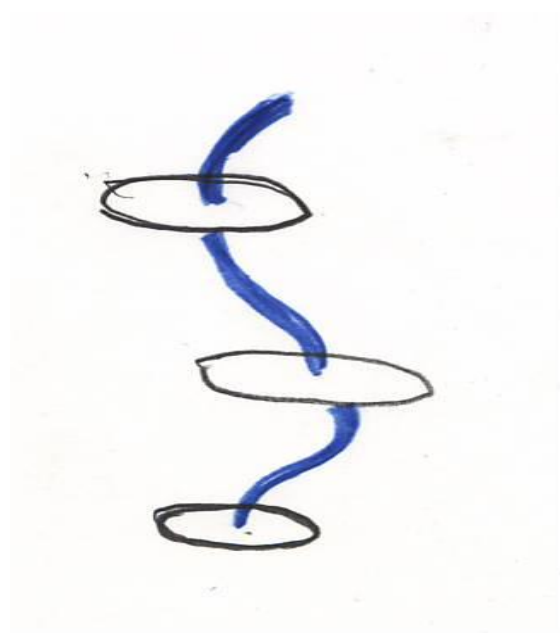
京町家を近代的なビルに見えるように，建物の表を全面的に改修した様式で，特に戦後の高度経済成長期にこうした改修が施された。外観は，いわゆる京町家とは大きく異なるが，京町家の外観に戻すことは比較的容易である。

るが，京町家の外観に戻すことは比較的容易である。

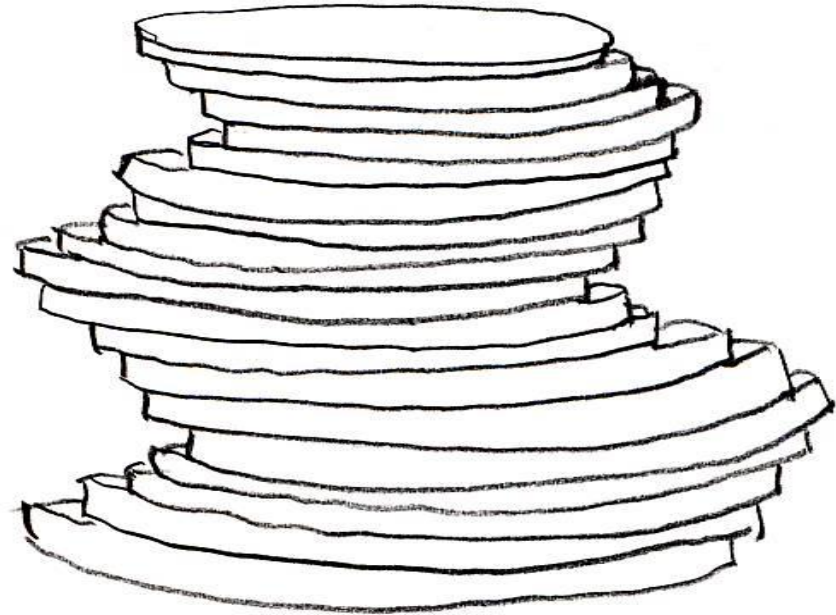
▶ ⑧その他

以上の①～⑦の類型にあてはまらない建物。

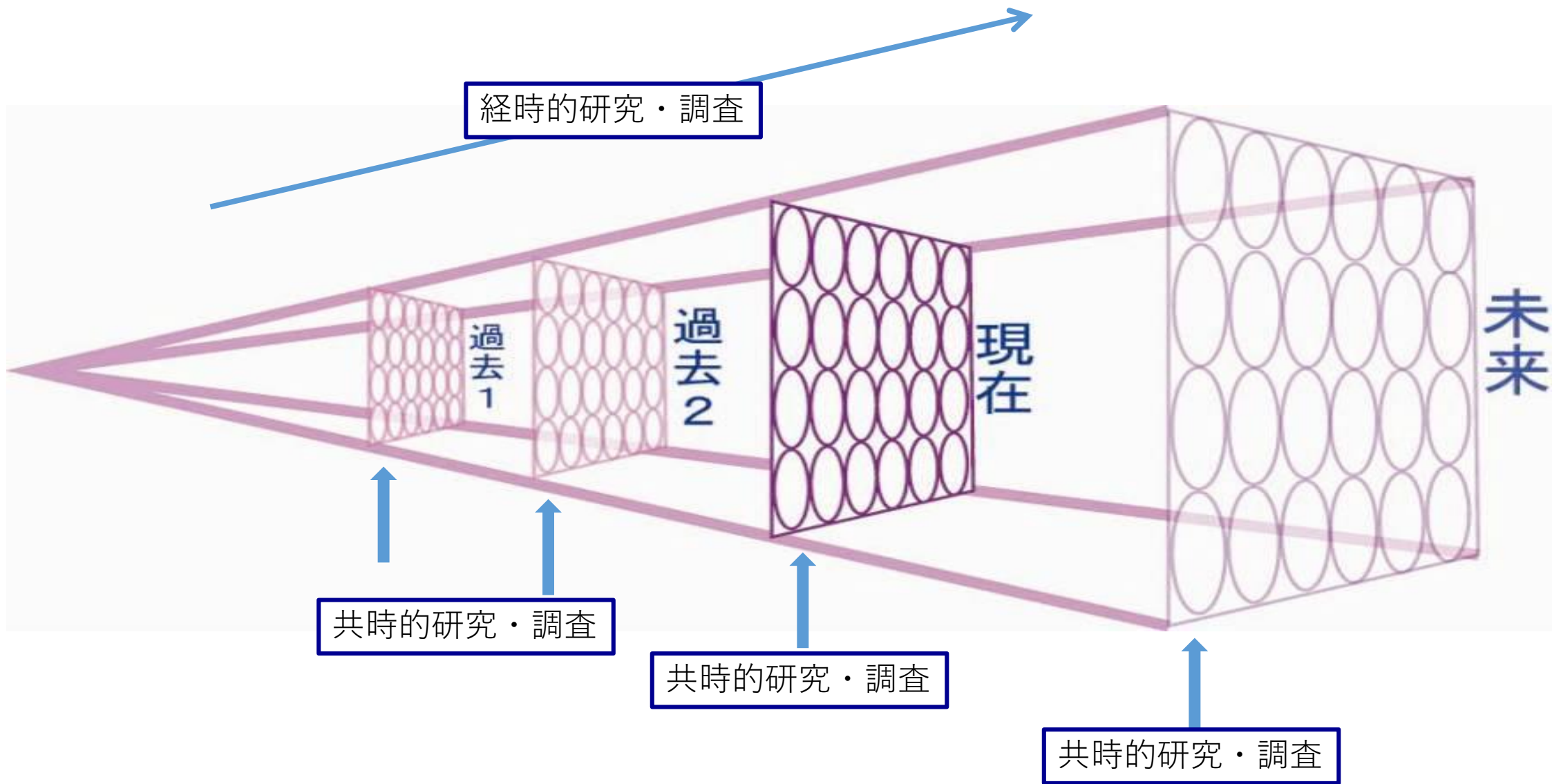
時代相、文化相の復元と推移



これまでの復元



これからの復元

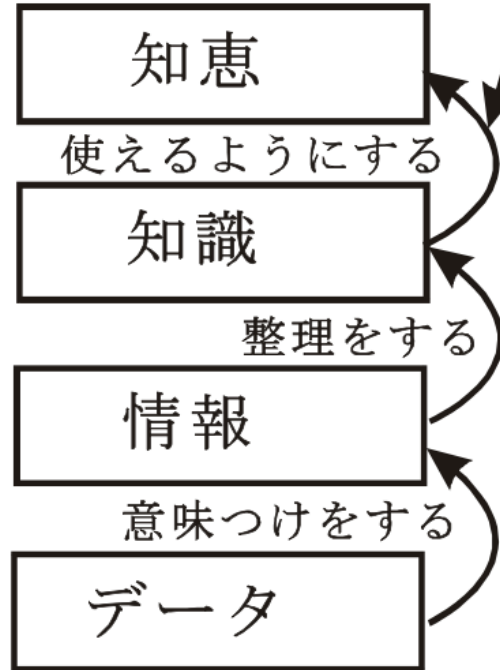


文化財、過去の遺産の役割

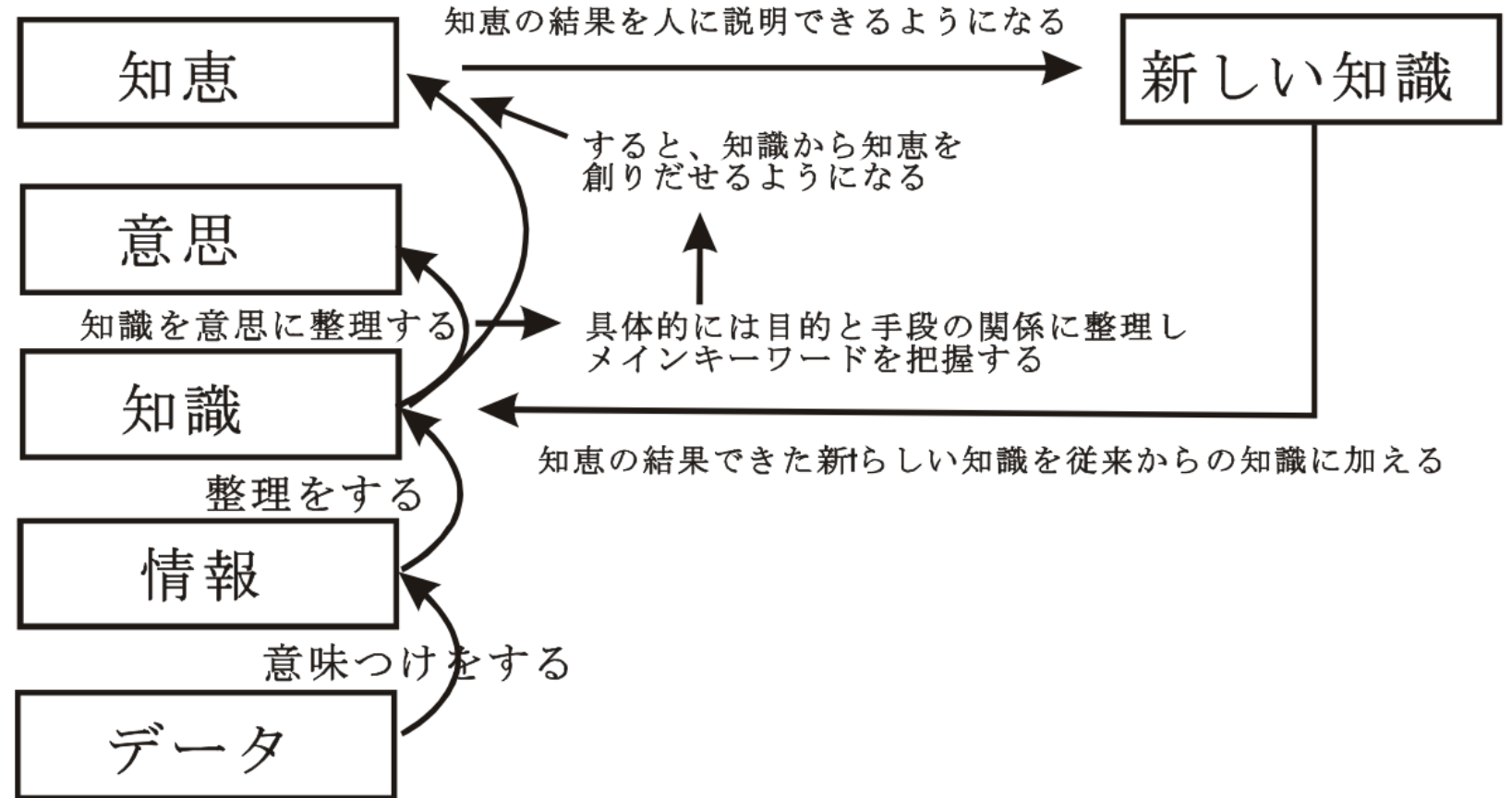
「データ」「情報」「知識」「知恵」の関係

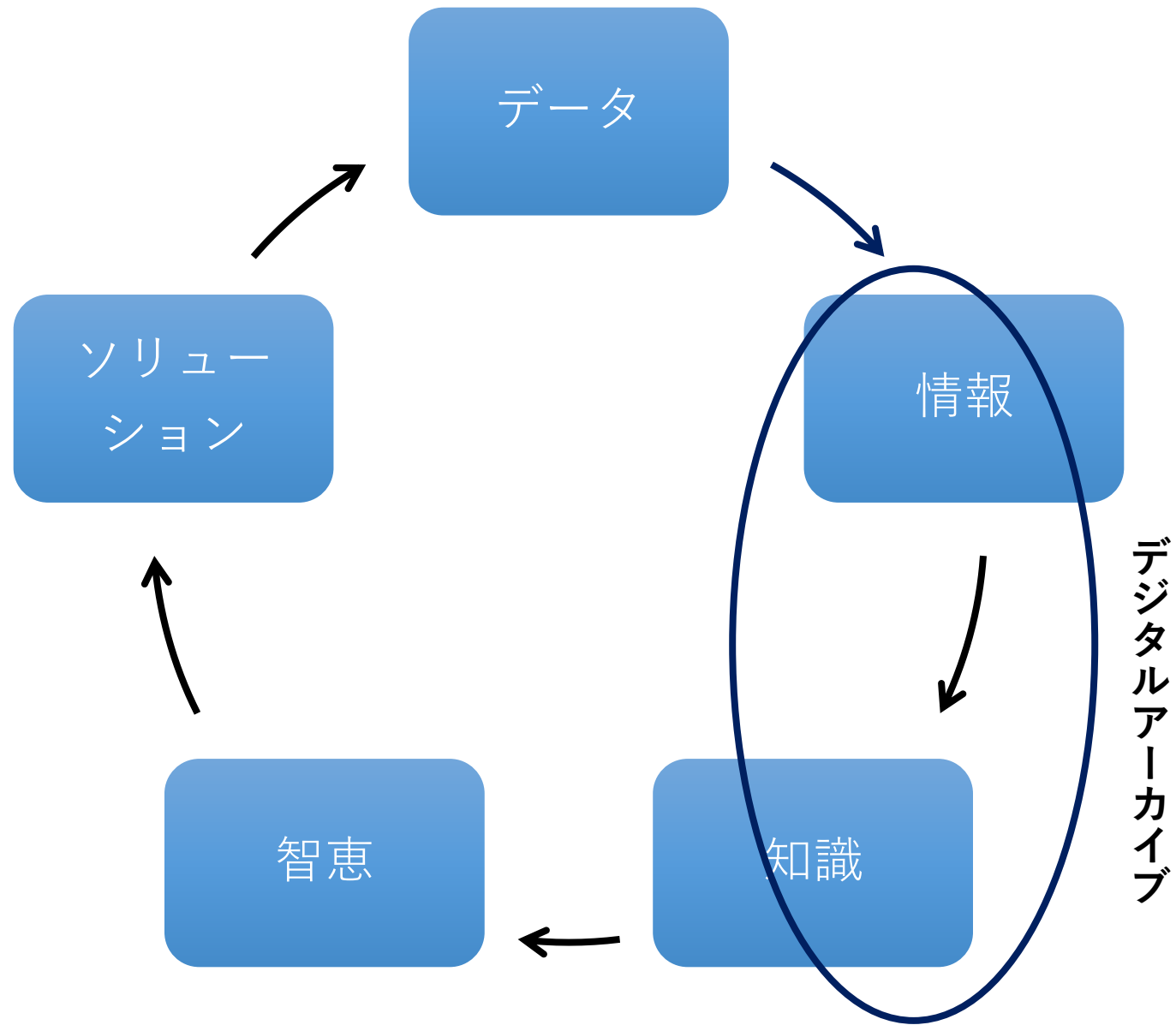
従来の問題点

どうすれば
使えるようになるか
がわからなかった



「知恵を創りだす方法」で明解な手順が明らかになった



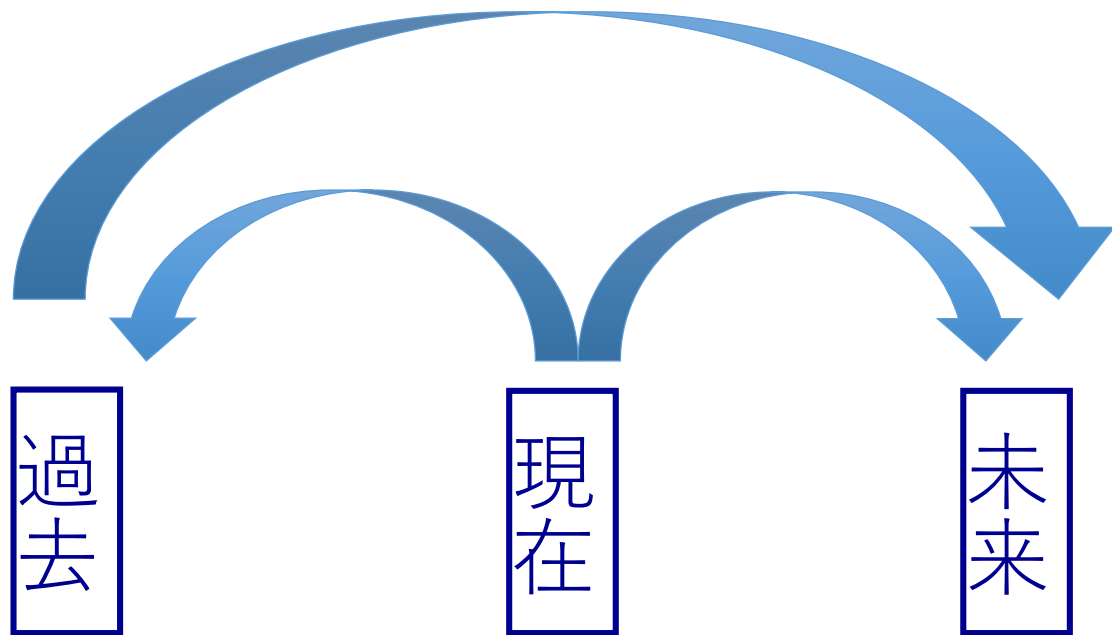


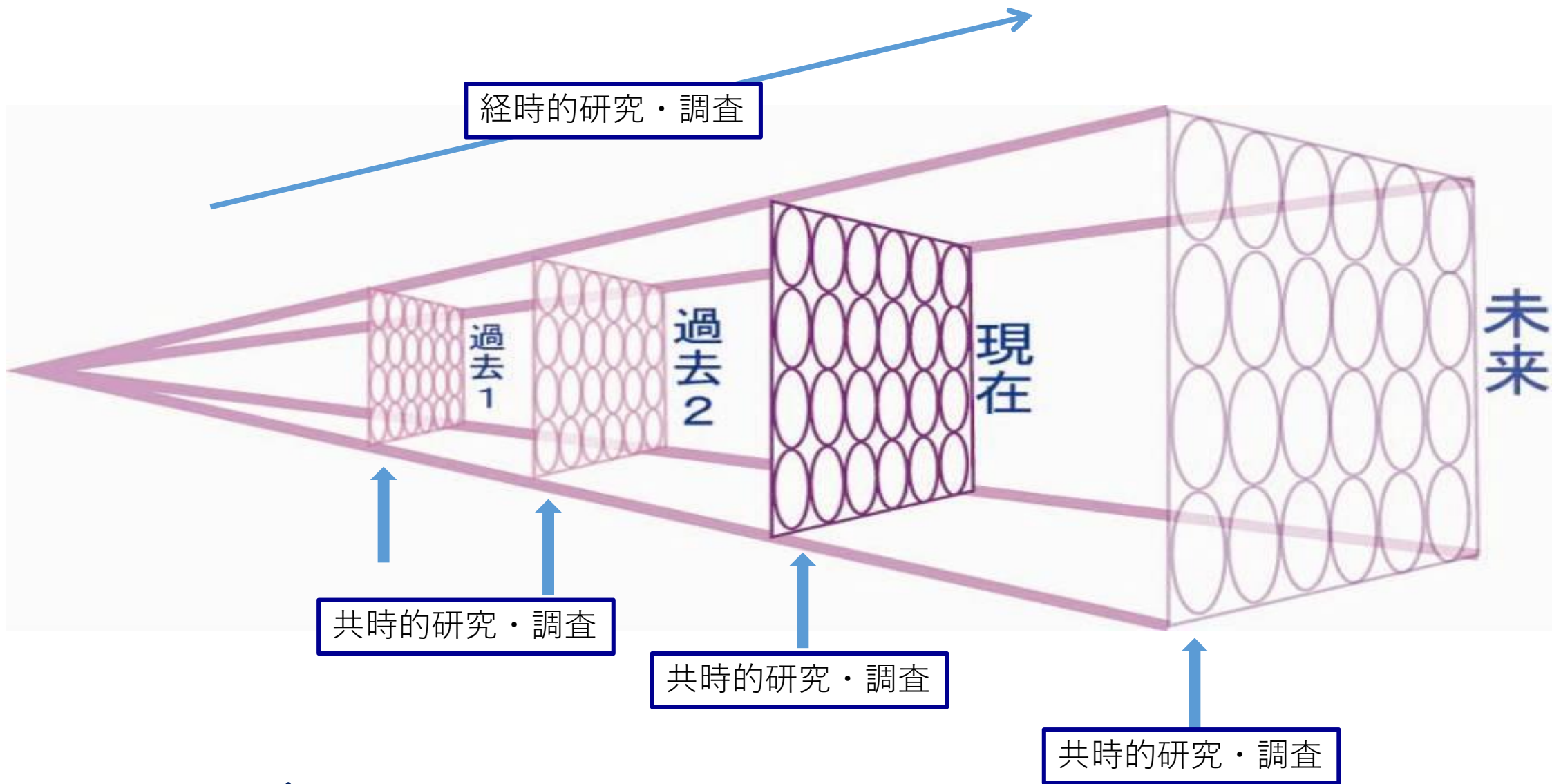
文化遺産

- 過去と未来をつなぐ、橋渡しをする
- 持続可能なものとする
- 誰もが接することができる
- 画像、映像、解説、音声、などによる記録
- 比較・検討・調査・研究ができるようにする
- それぞれの時代の評価を記録する

デジタルアーカイブ

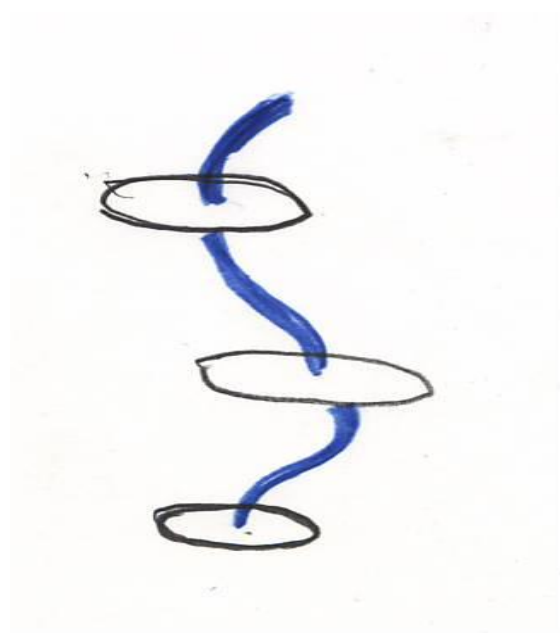
- 各種のデジタル情報資源の収集・蓄積・保存・提供、および各種の記録や資料をデジタル化すること、又はそれらデジタル情報の集積。 これらを行うシステムを含む場合もある
- 長期的な保存を目的
- いつでも、どこでも、だれでもアクセス可能
- 大量のデータを蓄積



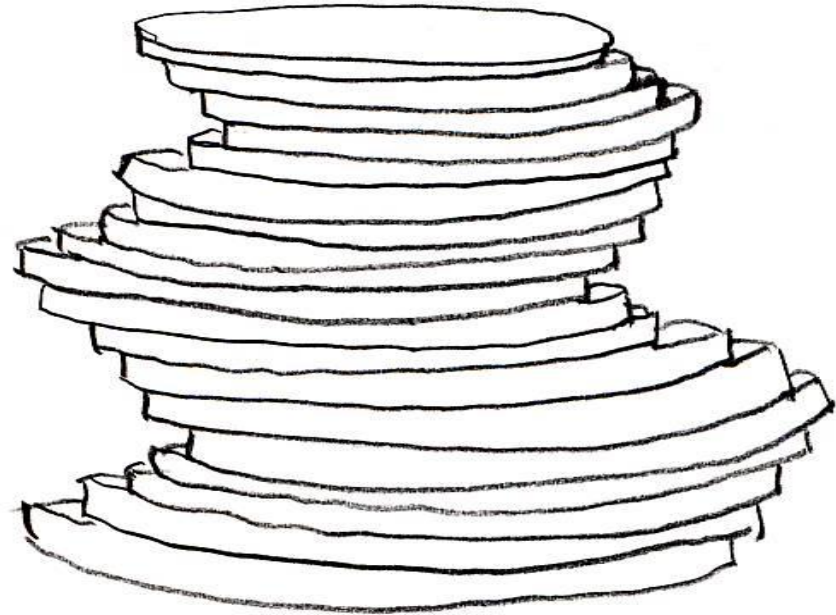


文化財、デジタルアーカイブの役割

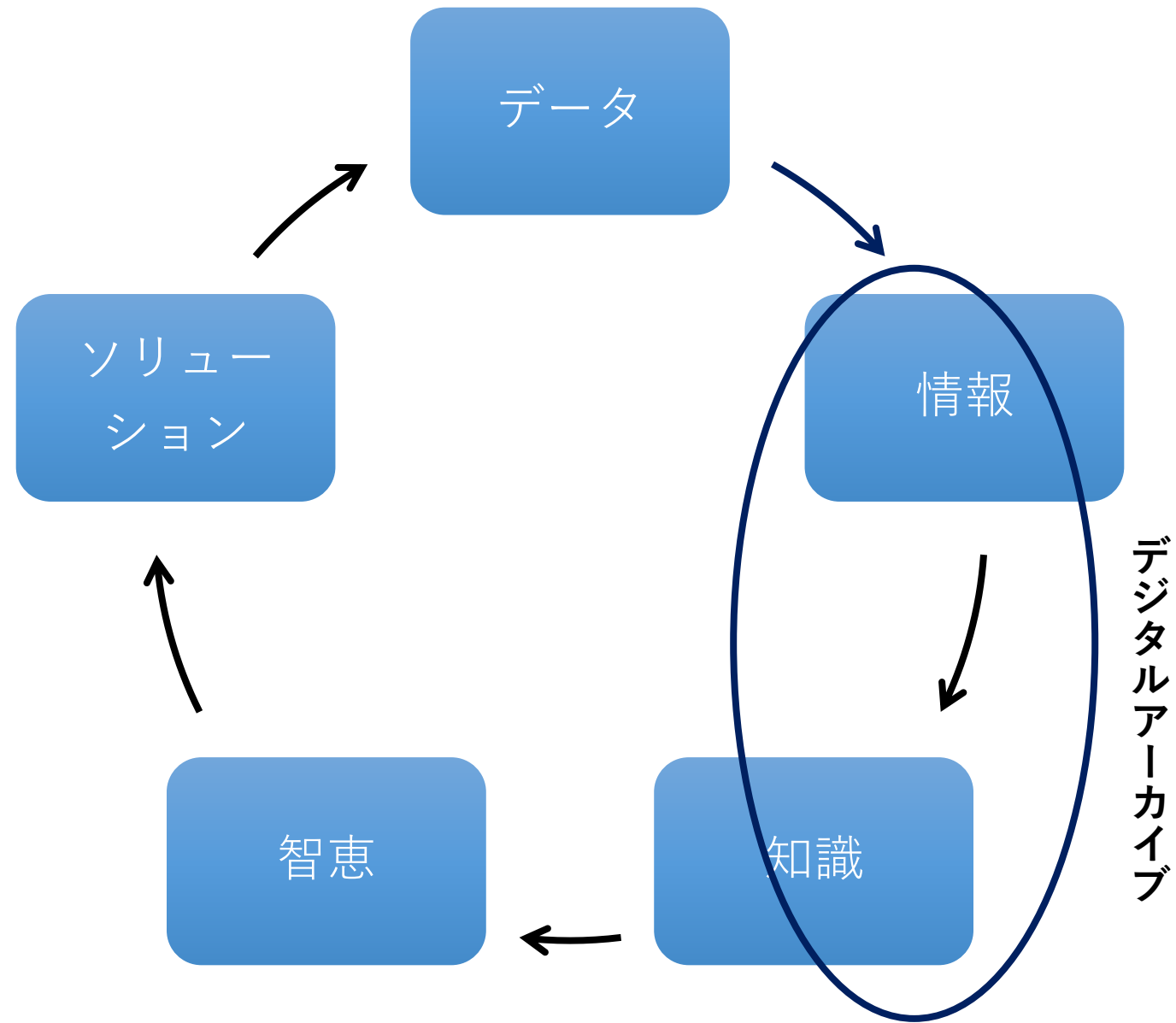
時代相、文化相の復元と推移



これまでの復元



これからの復元



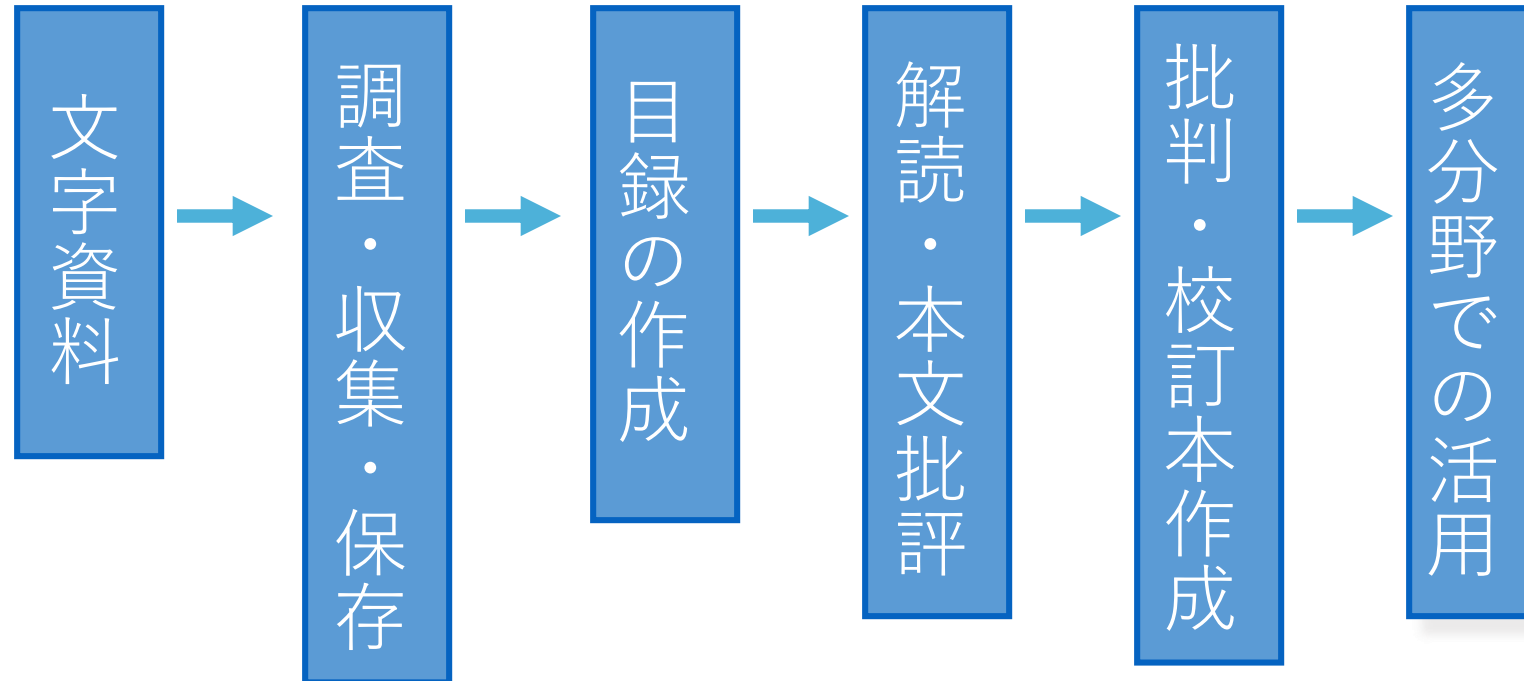
ボーン・デジタル born-digital

- 紙などのアナログ形態の資料を事後的にデジタル化したものではなく、最初からデジタル発信、流通される資料や情報を指す
- ウェブサイトなど

資料と研究分野

資料	資料学	保存整理学
落書き 金石碑文	碑文学 Epigraphy	博物館学 Museology
古文書	古文書学 Paleography	文書館学 Archivistique
書物 文献	文献学 Philology	図書館学 Library science
デジタルボーン	?	?

文字資料に関する学術上の操作



知的情報の継承方法

- 書籍

- 300部、500部、1000部、2500部・・・
- $2\text{ cm} \times 20\text{ cm} \times 15\text{ cm} = 600\text{ cm}^3$
- $600\text{ cm}^3 \times 1,000\text{ 部} = 600,000\text{ cm}^3 = 0.6\text{ m}^3$
- $0.6\text{ m}^3 \times 0.1 \times 100,000\text{ 件} = 6,000\text{ m}^3$
- $6,000\text{ m}^3 \div (2.5 \times 0.2 \times 10\text{m}) = 1,200\text{ 棚 (長さ } 10\text{ m)}$
- $1,200\text{ 棚} \times 1\text{ m} \times \text{長さ } 10\text{ m} = \mathbf{12,000\text{ m}^2}$
- $3\text{ 分} \times 100\text{ 力所} \times 100,000\text{ 件} = 30,000,000\text{ 分}$
- $30,000,000\text{ 分} \div 60\text{ 分} \times 1,000\text{ 円} = \mathbf{5\text{ 億円}}$

情報化社会

- グーグル推計によるインターネット上の情報量は2011年で
281エクサバイト
- 漢字1文字：2バイト
 - 新書は平均約10万文字：20万バイト：200KB
 - 県立図書館平均蔵書数100万冊：新書200万冊：400GB
 - 日本の図書館約4741×200GB=540000GB=948.2TB
 - 世界の図書館の蔵書合計を948.2TB×50カ国=47410TB=47PB
 - 281EB=281000PB:281000PB÷47PB= ca 5978
- インターネット上にある情報は世界全体の図書館がもつ情報の**約6000倍**、しかも5年前の数字

デジタルアーカイブの課題

- デジタルアーカイブの環境整備
- 人事育成：digital curator, digital facilitator ...
- 国の中長期政策（デジタル活用の基本指針）
- 保存のための資金確保（公的資金投入）
- IIF: International Image Interoperability Framework
- 法整備（制度化）
 - 著作権
 - オープンワークス処理の問題
 - 所有権、肖像権、パブリシティ権
 - フェアユース
 - パブリック・ドメイン
-

